

透析患者における栄養状態の経時的変化

研究の概要

透析患者は、低栄養や炎症、骨格筋減少、易疲労などが認められています。

先行研究により、栄養状態は、筋力や日常生活動作能力の向上に密接に関係していることが報告されています。しかし、作業療法や理学療法を実施している透析患者の栄養状態についてはあまり報告されていません。今回、作業療法の対象となっている透析患者の栄養状態について、1年間の経過を後ろ向きに調査し、検討します。

研究対象

当院透析センターで平成26年4月～平成27年12月の期間に透析治療を受けており、作業療法を実施したものとします。

研究の意義

作業療法の対象となっている透析患者の栄養状態について検討することで、効率的な筋力向上や日常生活動作の向上に繋がることが考えられます。

研究の方法

既を取得している基本情報、身体的情報、血液データを元に一年間の経過を後ろ向きに調査し、前後比較します。基本情報、身体的情報、血液データは以下のデータを使用します。

基本情報：透析歴、合併症、年齢、性別

身体的情報：身長、体重、FIM

血液データ：血清アルブミン、リン、カリウム、カルシウム、C反応蛋白、クレアチニン

その他：Kt/V、PCR、%CGR

研究者氏名

本研究は、主体会病院総合リハビリテーションセンターに所属する作業療法士 野口佑太が担当いたします。

個人情報に対する配慮

検査目的として使用されたデータをもとに研究利用させていただきます。

院内に保管している患者様の個人情報は院外に出ることがないよう厳重に保管しています。

また、研究に利用するデータは患者様個人が特定されない方法で利用させていただきます。

研究者が保管している基本情報、身体的情報、血液データについてお知りになりたいときやそれらを使用してほしくないときには以下の連絡先までご連絡いただけましたら、対応させていただきます。

研究計画書及び研究方法に関する資料の入手・閲覧方法

研究計画書及び研究方法についてお知りになりたい場合には、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で資料の提供または閲覧していただくことができるようにいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

主体会病院 総合リハビリテーションセンター

作業療法士 野口佑太

TEL : 059-354-1771 FAX : 059-354-0755